

皆様へ

認定NPO法人びわ湖トラスト10周年記念イベント「未来へのメッセージ～びわ湖は日本のタイムカプセル～」の開催につきましては、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で、成功裏に終了することができました。

三角朋子（NHK大津放送局リポーター）、青山明日香（滋賀県立水口東高校2年生）の軽妙なやりとりで進行したプロローグ「湖底に眠る壺は 日本のタイムカプセル」で始まり、第1部の「古代から現代へ」では、西本椰枝（旅行作家）、熊谷道夫（地球物理学者）、今井一郎（水生生物学者）の3人が、過去2000年のびわ湖をめぐる自然と文化の歴史を紹介しました。

第2部の「現代から未来へ 新しい価値の創造」では、風景画家ブライアン・ウィリアムズが、過去30年間で変わってしまった山から湖に至る自然とその変化を、絵とトークで表現しました。その後、久保英也（滋賀大学経済学部教授）の司会のもと、ジュニアドクター育成塾生である森本莉久（小5）、中谷莉緒（中1）、佐藤爽音（中1）、大崎永菜（中3）、飛び入り参加のシュルンツェ志奈（中1）の5名の生徒たちと、県内ベンチャー起業家である平山巧馬（株式会社近江デジタルファブリケーションズ）、金岡博士（株式会社人機一体）の2名との対話がありました。子供たちの鋭い質問に、二人の現役メーカーズもたじたじでした。観客からは、大人顔負けの子供たちの鋭い問いかけに驚きと称賛の声が上がっていました。

第3部は「新しいびわ湖の歌の選定と生演奏」がありました。久野治&塩川剛史「びわ湖一周の歌」、上野耕治「マザーレイクビワ」、松浦陽子「みずうみのうた」、野上涼子「びわ湖トワ」の4曲が演奏されました。いずれも甲乙つけがたい質の高い楽曲でしたが、最終的には「びわ湖トワ」が最優秀曲となりました。これについては、当日のNHKニュースで紹介されました。<https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20181008/0008472.html> 楽曲選定にあたりました審査委員長の後藤悦治郎（紙ふうせん）、審査委員の角田知恵理（NHKディレクター）、遠山利子（歌人）、辰巳直弘（音楽家）、福嶋あかね（声楽家）、びわ湖トラスト関係者の橋本雅彦、兼松憲一、澤薫、内藤悟（BBCびわ湖放送）の各氏に心より感謝申し上げます。

会場前のホワイエでは、ブライアン・ウィリアムズの絵画展示、ジュニアドクター育成塾の村上智絢（小5）、白神大輝（中1）、高山拓郎（中2）、君付茉優（中2）、川井彩音（中3）、稲波悠真（中3）らのポスター展示、株式会社環境システム、株式会社いであ、株式会社ハイドロシステム開発の企業展示、近江ミネラルウォーターによる冷水サービスがありました。

最後に、本イベントの企画・構成・演出・舞台にご協力を頂いた小山耕一、石沢直樹、高山友里、山田大輔の各氏、大きなご支援と協力を頂いた平和堂財団、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育員会、真如苑、びわ湖ホール、びわ湖トラストなどの全ての団体および個人に改めて御礼を申し上げます。

びわ湖トワ

作詞 野上涼子 作曲 加藤景子

- 1 ねえ 覚えているかい 一緒に乗った「うみのこ」
沖島の皆が 手を振ってくれたね
あの日 見た蜃気楼 宙にうかぶ大橋
淡いろ心に 刻み込まれる
あの美しい ただ ただ ぼくらを見守る
希望をつなぐ 友のような湖（うみ）

- 2 ねえ 気付いていたかい 夕日に映る 金の波
唐橋のカイツブリ キリリと鳴いていた
あの日 見た世界は まぶしく 輝いて
なずさう心に 満ちて あふれる
あの美しい ただ ただ ぼくらを見守る
大きくつつむ 父のような湖（うみ）

- 3 今 都会の狭さに 息苦しく もがく
当たり前の存在（こと）に 気が付かずに来てた
あの日のふるさと 美しいパノラマ
前に進む 勇気を くれたね
あの美しい ただ ただ ぼくらを見守る
優しく抱く（いだく） 母のような湖（うみ）

- 4 君が 大きくなったら 一緒にまわろう「びわいち」
吹く風 さわやかに さざなみと薫る
レガッタ追いかけ きらめく水しぶき
桜のトンネル 明日への夢
この美しい ただ ただ ぼくらを見守る
未来に続く ここ滋賀 琵琶湖